

ふくろう新聞

<発行>
 特別養護老人ホーム
 淡路ふくろうの郷
 広報委員
 洲本市中川原町中川原 28 番地 1
 TEL: 0799-25-8550
 FAX: 0799-25-8551
 ホームページ
<http://hyoufuku.main.jp/fukurou/>

先日、広島県福山市の浦にありますが「瀬の津ミュージアム」の学芸員の訪問がありました。11月30日から「その人にとって大切にしている物」をテーマに展示するなかに、勝楽さんの子ども代わりのお人形に展示させて頂いたのは是非展示したいと打診に来られたのです。展示されたお人形を勝楽さんと観に行こうと思います。

のあり方について意見を述べたい。悩み、入居者の望む人生の送り方を実現するために努めることです。

私は「食を食べることは生きる」とだと考えています。「食を食べる」は「人生を消化する」という意味ではなく、何を食べるのか、どう生きたいのか。入居者の意思も尊重し、人生を昇華することができるようにお手伝いするのが、私たちの使命だと考えています。

発表を通して私たちの仕事は、誇りある仕事であると伝えられたのだと、改めて気づかされました。

(生活援助係 堀田喜子)

恒例の一大イベントである、ふれ愛まつりは今年で13回目を迎えました。10月28日は好天に恵まれ、およそ1200名と多くの人々で賑わうお祭りになりました。



ふくろうふれ愛まつり 1200人で賑わう

「ひとひといを大切にともに生きる」～人生に学び、暮らしを創る～

今年の祭りのテーマは「一人ひとりを大切にともに生きる」で人生に学び暮らしを創る。当施設が出来て13年が経った今、ふくろうの郷での入居者の暮らしを見つめ直し、今までの人生を振り返ることで改めて学びが得られるような企画を展示しました。これからもこの祭りを開催することで、入居者のくらしと人生を発信する場、若者から高齢者の声を発表する場、地域の振興に寄与する場として開催し続けていきたいと思っています。

改めて、当日お越しくくださった皆様、ご協力いただきました皆さまに深くお礼申し上げます。(第二会場中川原ふれあいセンターでの模様は5面に掲載)

(まつり実行委員会
 事務局長 神代雅司)

誇りある私たちの仕事

レポート報告を通して 新たな気づき

全聴福研交流集会在10月20・21日に東京学芸大学で行われ、当施設から「食事制限が必要な入居者の生活支援とのかかわり方」というテーマでレポート発表をしました。

支援者の使命は、利用者を中心にその家族がいて、支援者はその周りで、それぞれの視点、角度から入居者を見守り、支援

全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会

発表を通して私たちの仕事は、誇りある仕事であると伝えられたのだと、改めて気づかされました。

(生活援助係 堀田喜子)

ほんのこつ好きバイ! 福祉のついで

21・老福連職員研究交流集会在11月24日(土)〜26日(月)、熊本で開催されます。当施設からは『人生を語る・人生から学ぶ〜ふくろうまなびあい文庫』と題してまなびあい文庫の取り組みを「自分史」「入居

者の変化」「職員の成長」をキーワードに報告します。

自分史づくりの作成過程で、入居者が自分の人生を語るうちにどのようになり変わり、またそれを伺う職員が何を学んだかを伝える予定です。

(事務長 橋詰恭子)

文化展

文化展では、ふくろうの郷での入居者の暮らしや取り組みを暮らしの4本柱に沿って、写真等で紹介しました。

「自治会」では自治会活動を、「学ぶ」場であるふくろう大学の書道、絵手紙、料理講座を、また「働く」はふくろう工房のちぎり絵、盲ろう者八木利昭さんの陶芸の製作品を展示しました。

また、今、全国で問題となっている旧優性保護法について、新聞記事などをまとめました。式典に



▲暮らしの4本柱について紹介



▲神戸の施設建設について模型で紹介

先立ち、待合室に居合わせた小林宝二さんご夫婦や高木妙子さんが来賓の竹内市長や浜田県会議員に断種に関する提訴の想いを語り「ご苦勞様でしたね」というねぎらいの言葉と励ました。また、神戸でのろう者の暮らしやすい施設建設運動の取り組みについても模型を展示し、紹介しました。

「入居者の暮らしがよくなる、楽しく生活をしていると感じた」という声もありました。(生活援助 和田彩加)



▲文化展を見ながら、お茶を楽しまれる参加者



新岡しげみさんと一緒に



武内千代美さん、久しぶりで会う友人と手をつないで



榎本廣次さん、久しぶりに知人たちと



笑顔の花が咲いた



まつりに来て下さったご家族とお買い物をされたり、久しぶりにお会いしたご友人と手を取り合って喜び、楽しそうにお話をされていました。

太田満穂子さん、ご主人と一緒に



知人と談笑する広島彰さん



安藝正枝さん、川村ハルエさん、徳島「やまもも」の仲間たちと



模擬店賑わう

美味しいもん選手権開催

おいしそうな匂いがたちこめる模擬店コーナー。ことしも島内外から、私たちの店が一番と腕を競い、どの店もお昼過ぎには完売の嬉しい悲鳴です。

そして恒例のB級グルメ改め「美味しいもん選手権」が開催されました。

今年は受付に投票ボードを設置し、よかったと思う店への投票シール数と、審査員によるアンケート投票で決定いたしました。審査員はいつくるのか？誰なのか？ドキドキしながらの接客だったのでないでしょうか。シールは少なうても審査員票があれば逆転可能となります。

結果発表

- 1位 サークルたるみ「コロドーナツ」
- 2位 ふくろう調理係「ラーメン・コロッケ」
- 3位 男の料理講座「猪肉の一口カツ」でした。



▲たくさんの人で賑わう模擬店コーナー



▲投票に参加する吉見輝子さん

1位サークルたるみ、3位の男の料理講座は毎年入賞です、強い！2位の調理係は初めての快挙です。模擬店団体の皆様、ありがとうございました。（調理係 山本藍菜）

舞台発表



▲今年初参加の県立洲本高等学校ミュージックダンス部の生徒さんによる華麗なダンス。「かっこいい」との歓声があがり、みなさん釘付けでした。

▼例年参加いただく中川原小学校の生徒さんの歌。今年は一人ひとり手話で堂々と名前を披露。見ていた皆さんから「うまいね」と驚きの声がわいていました。



▼入居者企画では「花咲じいさん」の劇をしました。練習も少ない中、入居者さんも職員も一緒に楽しく準備や本番の劇を楽しむことが出来ました。演じた入居者は「みんな上手だったね」と声を掛けられ「とても嬉しかった。またやりたい」と笑顔で話しておられました。（生活援助員 中村久香）



▲手話うた三線 たかし&ただし with まもるのみなさん。警察官などに仮装しての登場に観客のみなさんも驚きの表情と笑みがこぼれていました。耳と目の両方で楽しませてくれました。



▲指導いただいたろう俳優庄崎隆司さん(左端)、手話劇担当職員と一緒に



淡路聴覚障害者 センター便り

洲本市港 2-26
洲本市健康福祉館 3階



一緒に模擬店を回りました。入居者のみなさんに祭りの雰囲気味わってもらえてうれしいです。また手伝えることがあれば声をかけてください。
岡田教夫さん

ふくろうの郷で開催された第13回ふくろうふれ愛まつり。手話奉仕員養成講座を受講中のみなさんにボランティアをお願いしたところ、5名が応募してくださり、入居者の付き添いや着ぐるみなどを担当、聞こえない人が手話だけで対応するものではないことを学んでいただきました

手話奉仕員養成講座受講生 ふれ愛まつりにボランティアとして活躍



習った手話が伝わらないもどかしさがあったが、竹邊さんがいつも笑顔で接してくれ嬉しかった。
寺内裕美さん



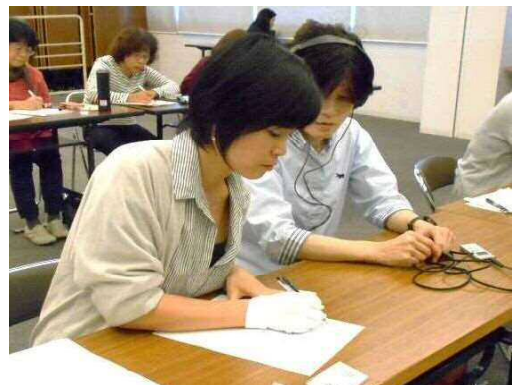
各部屋を回り、入居者に喜んでもらえた。こどもたちが嬉しそうに寄ってきてくれた。「ゆめるん」を体験できたので、良かったです。また講習会で覚えた手話が使え嬉しかった。休憩の時はいろんな店で買い物もでき、良い一日となりました。阿部祐依さん



司会を担当して下さった高木里朋さん

10月6日より要約筆記啓発講座を開催しています。「要約筆記の基礎知識」のテーマでは、要約筆記の3原則「早く・正しく・読みやすく」を学びました。話を要約して伝え、また読んで理解できる内容、そして読んでも疲れないように書くことが必要です。実技ではヘッドフォンを付けて大音量の雑音を流し難聴役の方、要約筆記役を体験しました。実際に難聴体験をした受講生からは「情報保障がないと疎外感を感じた」と話され、中途失聴・難聴者の方々への要約筆記の必要性が理解できた学習となりました。

要約筆記啓発講座 早く・正しく・読みやすく



難聴者の疑似体験をする受講生

自分に合った補聴器を選ぼう

補聴器は値段が高い方が、よく聞こえるのでしょうか？
高い補聴器は色々な機能があり、性能が良いのも事実ですが、大事なことは一人ひとりにきちんと合っているかどうかです。使う人の聞こえの状態や、どこで、どのように使うのかなどを考えた上で決めることが大切です。

また、補聴器を装着すると明瞭に声が聞き分けられるわけではなく、自分に合うように訓練しなければなりません。補聴器店では、実際に装着して生活をし、試すこともできる貸出を行っているところもあります。

身障手帳を所持していれば、補装具としての申請もできます。センターまでお問い合わせ下さい。



中川原高齢者・障がい者地域 ふれあいセンター



☎656-0002
兵庫県洲本市中川原町中川原 222-2
TEL 0799-28-0990
FAX 0799-28-0992



ふくろうふれ愛まつり 第2会場盛り上がる

台風にみまわれた昨年とはうってかわった晴天の下、ふくろうふれ愛まつりの第2会場のここ、ふれあいセンターも大勢のお客様、特にお子さんにご来場いただき、楽しそうな笑い声が響き渡った一日となりました。

「ふれあいセンターを知ってもらいたい!」という想いから地域住民、ふれあいスタッフ一丸となり開催しているふれあい第2会場。さて、来年はどんな内容にしましょうか? こうご期待ください!

(濱田 良介)



お菓子釣り子供が楽しめる

うすと杵を使って つき立てお餅の販売人気

10月24日(木)、利用者会議を行って、「ふくろうふれ愛まつりを盛り上げるには?」ということで相談し、『餅つき』を計画しました。当日の28日(日)、淡路ふくろうの郷にて午前11時と午後1時の2回パフォーマンスをしてつき立て餅をぜんざい、みたらしとして販売しました。子ども連れの方をはじめ、多くの方が寄ってきてくださいました。



め、多くの方が寄ってきてくださいました。出だしは、他の店に行列ができているのを横目でみながらもち米が蒸しあがるのを待つという状態でしたが、つき上がるのと、次々と、並んで、大忙しでした。農作業班の仲間たちがパフォーマンスで場を盛り上げて良かったです。

是非、来年もやりましょう!
(おのころの家生活支援員

藤本美保子)

新任職員の紹介

はじめまして、10月よりよりおのころの家農作業班に入職いたしました。歳はいつていますが新人です。農業の経験はありませんが利用者の方々と一緒に玉ねぎの苗を植えたり、草刈りをしていただきたく思います。

(生活支援員 富田博行)

これまでろう者や手話についてあまりかわりがありませんが、これからはろう者や手話について学び始めたいと思います。普段のコミュニケーションもまだとりにくいですが、反対に利用者さんから手話を教えてもらったり、ぼちぼちでいいよと声をかけてもらったりと、それもコミュニケーションになっていて、うれしく思っています。

(生活支援員 山本成実)

神戸事業所 安心して暮らせる
福祉施設を!!

共同作業所 神戸ろうあハウス

神戸ろうあハウス デイサービスセンター

〒652-0897 兵庫県神戸市兵庫区駅南通5-4 西高架下16号
TEL & FAX … 〇七八・五七九〇七五五

一人ひとりの人生に どう向き合うか

9月から神戸で社会福祉法人 公開講座が始まっています

神戸における施設建設や事業展開のために法人の理念等を学ぼうと9月から毎月公開講座を開催しています。一回目は、「一人ひとりを大切に共に生きる」“人権・民主主義・コミュニケーション”というテーマで、大矢理事長の講演でした。淡路であれ、神戸であれ社福の職員、スタッフとして支援を担う者にとって、基本となる内容でした。

■「ふくろう学びあい文庫」 作成を通じて学んだこと

2回目は10月6日「ろう

あ高齢者の現場」からと題して、「自ら考える」ということで、実際に淡路ふくろうの郷だと思えます。

で支援に当たっている3名、ろうあ高齢者の支援の職員から「ふくろう学びあい文庫」の編集に関わり、その作成を通して入居者から学んだことを話していただきました。一回目、二回目とも作業所の職員、デイサービスのスタッフ、講座の情報を得て、積極的に申し込みしてくださった人達、合わせて30名弱の参加者があり、講演後、グループに分かれてワークショップを行いました。
(神戸施設建設委員会事務局 眞木崇江)

■自ら学ぶことを大切に

この公開講座で何を学ぶのか。それは一人一人の課題ではあります。自ら置かれた立場、役目から現状を正しく見て、そこにはどんな問題があり、また、その問題解決に向けて、周囲とどのように連携、共調して取り組んでいくのかということ。つまりマニユアル通り、言われた通りの仕事をこなすのではなく

神戸施設建設募金

目標 1億円!!

2018.11.6現在 募金合計額

52,730,267円

(プレート募金 101人)

目標1億円まで、あと

47,269,733円

11月・12月 ふくろうの暮らし

- 11/16 (金) ふくろう工房ちぎり絵
- 11/20 (火) 入居者自治会懇談会・おのころ屋パン販売
ふくろう大学絵手紙講座
- 11/21 (水) ふくろう喫茶
- 11/23 (金) 回想法
- 11/30 (金) ふくろう大学料理講座
- 12/2 (日) 淡聴協主催「手話のつどい」
- 12/3 (月) ふくろう理髪店
おのころ屋パン販売
- 12/4 (火) 入居者誕生日会
- 12/11 (火) ふくろうの郷クリスマス会
- 12/12 (水) ふくろう大学絵手紙講座
- 12/14 (金) ふくろう工房ちぎり絵
- 12/18 (火) 入居者自治会懇談会
しめ縄作り・もちつき・来年の漢字
- 12/19 (水) ふくろう大学書道講座



ふくろうの郷見学・研修予定

- 11/22~23 きょうされん幹部研修会様 20名
- 11/25 滋賀県手話サークルゆいの会様 40名
- 12/4~5 全国聴覚障害者ケアマネ研修様 10名
- 12/7 滋賀県手話サークル「ふくろう」様 20名

見学者の感想

- ふくろうの郷の建設にかける思い、そのエネルギーの強さに感動、全国に同じような施設が10か所しかないことにも差別の厳しさを感じました。
- 力強さと優しさを兼ね備えた施設であると感じました。
- 実際に見ないと分からない。現地に足を運ぶことの大切さを感じました。

淡路市人権教育研究協議会